

台風26号伊豆大島豪雨災害での 九州地方整備局TEC-FORCEの活動

平成25年11月3日現在



九州地方整備局

Kyushu Regional Development Bureau



◆H25年台風26号伊豆大島豪雨災害への対応概要

■ 被災翌日の10月17日より緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）及び防災ヘリコプターを伊豆大島へ派遣

＜派遣期間（第1陣～3陣）＞
平成25年10月17日～11月3日

班 名		班数	人数
被災状況調査班	砂防班	3班	13名
現地活動支援班		9班	15名
計		12班	28名

TEC-FORCE 延べ186人・日派遣



被災直後の緊急点検（第1陣）



砂防施設の点検調査（第3陣）



▲降雨後等の再点検（第2陣）

◆**第1陣、第2陣の活動** ※数値は九州地整TEC担当分
土石流危険渓流（12渓流）、急傾斜地危険箇所（3箇所）の被災状況把握や危険度評価など緊急点検、台風通過後の再点検等を実施

◆**第3陣の活動**
東京都や大島町が管理する砂防施設（堰堤、流路工など18施設）の被災状況調査を実施

◆**全国からTEC-FORCEが集結**
九州地方整備局のほか、国土交通本省（砂防部）、国土技術政策総合研究所、関東・北陸・中部の各地方整備局のTEC-FORCEが活動し、被災地の技術的支援にあたった。
（11月11日現在、関東地方整備局は支援継続中）

◆被災状況調査の全体概要

■ 土砂災害危険箇所等の緊急点検を実施

◆土石流危険渓流 点検箇所図



※図は、10/23関東地方整備局記者発表資料より

◆急傾斜地崩壊危険箇所 点検箇所図



◆緊急点検箇所数及び点検結果

区 分	全 体				九州TEC担当(全体内数)			
	A	B	C	計	A	B	C	計
土石流危険渓流	5	9	26	40	2	3	7	12
急傾斜地危険箇所	3	4	24	31	0	0	3	3
合 計	8	13	50	71	2	3	10	15

※第1陣、第2陣が点検調査を実施

■砂防施設点検箇所数

区 分	全 体	九州TEC担当 (全体内数)
東京都管理	74	15
大島町管理	11	3
合 計	85	18

※第3陣が点検調査を実施

■ H25.10.18（金）土砂災害危険箇所等の緊急点検調査を実施（大島町）

【第1陣】



◆被災直後の緊急点検
被災状況の把握や危険度評価のため、現地調査を開始

■ H25.10.18（金）土砂災害危険箇所等の緊急点検調査を実施（大島町）

【第1陣】



◆被災直後の緊急点検
瓦礫をかきわけ、現地調査に向かうTEC-FORCE隊

■ H25.10.20（日）既点検箇所の降雨後の変化状況について、再点検調査を実施（大島町）

【第1陣】



◆降雨後の再点検

連続102ミリ（大島町）の降雨後に、既点検箇所に変状がないか再点検（隊員安全確保のため、見張り員配置）

※以降の調査も見張り員配置と無線機を携行し隊の安全確保

■ H25.10.23（水）～24（木） 土石流危険渓流の再点検調査を実施（危険度A、Bランク）

【第2陣】



◆危険度Aランク箇所の再点検
危険度が高い箇所については、日々変状を再点検
二次災害に留意しながら点検を実施

■ H25.10.25（金）土石流危険渓流の再点検調査を実施（八重南沢：危険度Aランク）

【第2陣】



◆台風通過前の再点検

台風27号を前に危険度Aランク箇所を再点検
土砂や流木等が堆積している箇所も多数あり

■ H25.10.26（土）台風27号通過後の土石流危険渓流の再点検調査を実施（八重南沢：危険度Aランク）

【第2陣】



台風通過前後において土石流危険渓流(Aランク)に変化がないか定点調査を実施。

この点検結果に基づき大島町が避難指示解除

◆ 九州TECの担当は、八重南沢(No.40)



■ H25.10.27～28日 台風27号通過後の土石流危険渓流の再点検調査を実施（危険度B・Cランク）

【第2陣】



◆台風通過後の再点検

台風27号通過後、九州TEC担当分の全15ヶ所を再点検
第2陣の活動終盤、隊の結束力も一段とアップ

■ H25.10.30（水）東京都や大島町が管理する砂防施設の点検調査を実施（大宮沢）

【第3陣】

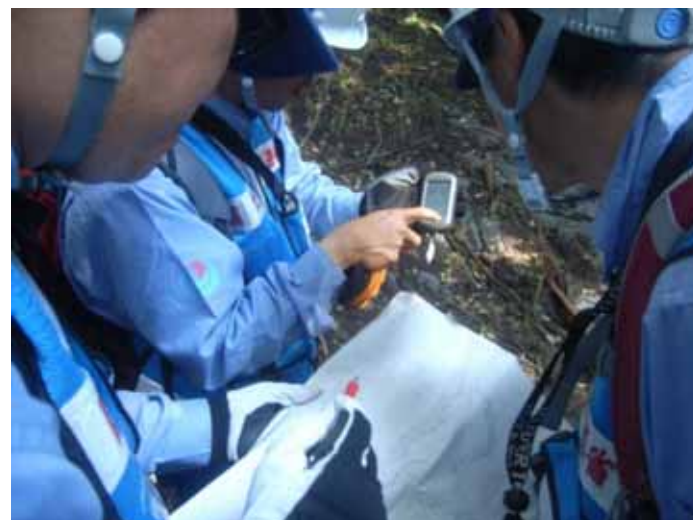


◆砂防施設の点検（東京都、大島町管理）

第3陣から新たなミッション。都や町が管理する砂防施設の被災状況を調査（砂防堰堤、流路工などの被災調査）

■ H25.10.31（水）東京都や大島町が管理する砂防施設の点検調査を実施（大宮沢）

【第3陣】



◆砂防施設の点検（東京都、大島町管理）
砂防施設も想像を絶する被災を受けていた
ハンディGPSで位置確認（溪流調査には非常に有効）

■ H25.11.1（金）東京都や大島町が管理する砂防施設の点検調査を実施（北の山沢）

【第3陣】



◆砂防施設の点検（東京都、大島町管理）

第3陣の点検もいよいよ終盤。滑らないよう慎重に点検
暗い暗渠内ではヘッドライトが有効です

■ H25.10.23（水）国土交通省TEC-FORCE隊の記者会見（土砂災害危険箇所等の緊急点検結果報告）



▲ 会見状況を伝えるテレビ報道

■ H25.10.26（土）台風27号通過後の再点検結果の記者会見

- ◆台風27号通過後の記者会見（本省、各地整TEC隊等）
台風通過直後に危険度Aランク箇所の再点検を実施し、
その結果を記者会見（結果：大きな変状なし）
大島町は点検結果に基づき、元町地区の避難指示解除



現地点検時に取材を受ける第2陣隊長



翌27日も詳細説明会見

■ H25.10.19（土） 9:35～9:45 海上保安庁と各地整TECの代表者へ指示・激励



▲太田国土交通大臣からTEC-FORCE隊へ指示・激励



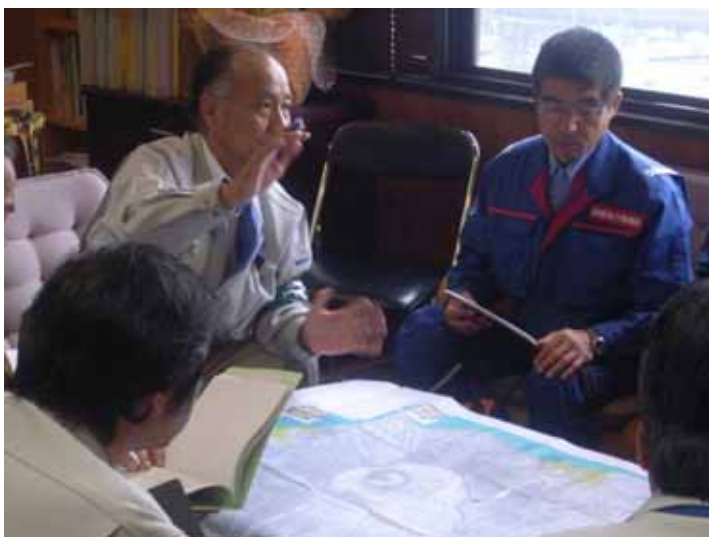
■ 東京都大島支庁（土木課）への点検結果の説明 （大島支庁 会議室）

緊急点検結果の報告（10／21）



砂防施設点検結果の報告（11／2）

■ H25.11.2（土） 東京都大島町長への点検結果報告 （大島町役場会議室）



■ H25.10.17 (木) ～ 本省、国総研、各地整TEC-FORCE 隊長会議状況 (大島支庁 会議室)



▲ 第1陣派遣時



▲ 第3陣派遣時



▲北陸・中部TEC隊と災対用ヘリ
「はるかぜ」の撮影映像を共有

◆毎日朝・夕2回の隊長会議
各隊の活動状況や予定の共有、安全対策や活動方針の決定など実施

■ H25.10.17（木）～11/3（日） 被災状況調査のとりまとめ状況等（大島支庁 会議室）



■ H25.10.17（木）～11/3（日） 現地における総務（ロジ）の活動状況



勤務時間管理・日報作成等



宿泊場所の経路調査（安全確認）



レンタカー利用期間変更手続き



現地で調達したワゴン車（4WD）

■ H25.10.22 (火) 12:40 TEC-FORCE隊 第1陣→第2陣への引き継ぎ (東京都・竹芝栈橋にて)



隊長引き継ぎ状況



ロジ班引き継ぎ状況

■ H25.10.29 (火) 12:40 TEC-FORCE隊 第2陣→第3陣への引き継ぎ (東京都・竹芝栈橋にて)

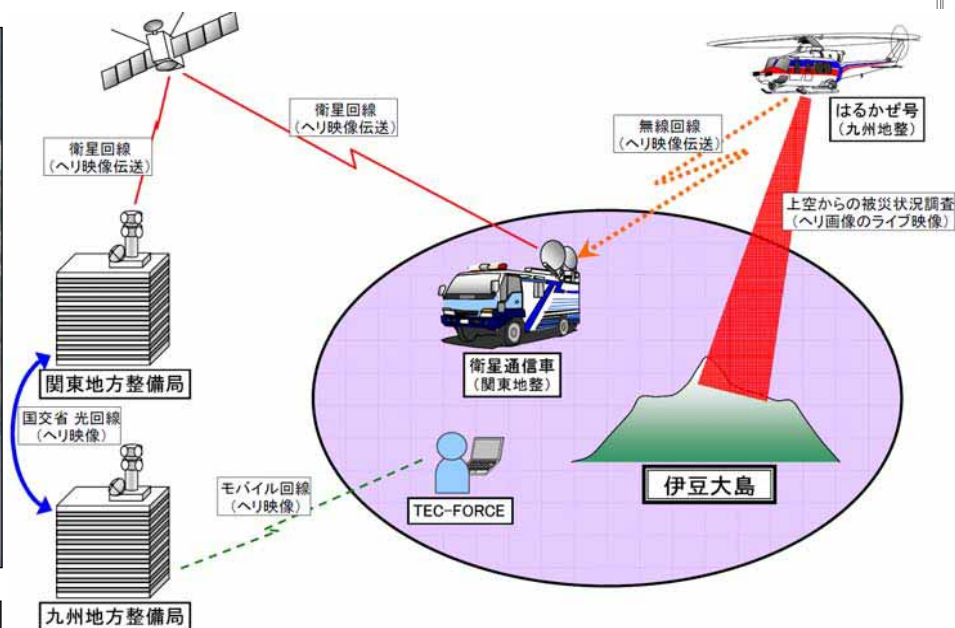


全体引き継ぎ状況



被災状況調査班引き継ぎ状況

【防災ヘリコプター派遣】 H25.10.18（金）「はるかぜ号」による上空からの全島被災状況調査を実施



▲ 伊豆大島被災状況調査系統図



▲ はるかぜ撮影映像（伊豆大島）



▲ 調査飛行状況（伊豆大島）

■ H25.10.17（木）～災害対策用ヘリコプター『はるかぜ号』によるTEC資機材運搬（福岡空港→大島空港）

ヘリまで台車で機材運搬（17日朝）



福岡空港

運搬

駐機（17日泊）



富士山静岡空港

〔飲料水も追加〕

運搬



給油
駐機

給油

給油

Yahoo Japan, JIC/PeNBook Yahoo地図より引用

機材の積卸し（18日朝）



大島空港（伊豆大島）

22

▲座席を外しての 機材積込→

TEC用資材、アルミスタッフ、50m巻尺、ポール、パソコン、プリンター、GPSなど



機内収納状況

■ TEC-FORCE隊の派遣



第1陣

▲ 命令書交付式（防災対策室）



第2陣

▲ 出発式（福岡第2合同庁舎玄関ロビー）



第3陣

▲ 任務終了の帰還報告（防災対策室）



▲ 派遣前の説明（防災対策室）

◆伊豆大島九州地方整備局TEC-FORCE隊の活動終了（11月3日）

【第1陣】

- ・被災直後（17日）から現地に入り、土砂災害危険箇所等の緊急点検を実施
- ・当初、宿泊所では断水が続くなど厳しい環境下での活動となった

【第2陣】

- ・台風27号の通過前後に、土砂災害危険箇所等の再点検を実施
- ・台風通過時は、大島支庁（拠点基地）に隊員全員で夜通し待機した

【第3陣】

- ・施設の復旧に向け、都や大島町が管理する砂防施設の被災状況を点検
- ・伊豆大島入り前、一般の方々から「ご苦労様」の声に奮起を誓った隊員達

◆搜索活動が続く中、被災地の心情等へ配慮しながら各隊とも全力で任務を遂行

◆被災地の1日も早い復旧・復興を祈念致します

